

商工労働部 成果報告

商工労働部長 寺 井 道 博

部局達成度

				
1	12	—	2	4
1	5	—	2	2

(うち観光文化局分)

総 括

商工業の振興では、市内中小企業者の生産性や企業価値の向上につなげるため、デジタル技術を活用したDX等の取組や新技術・新製品の開発への支援を行いました。

また、市内百貨店や首都圏での物産展の開催により、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品の認知度向上につなげました。

事業承継においては、福井県事業承継・引継ぎ支援センターほか連携中枢都市圏の商工団体等と連携した支援を行うことにより、圏域内における事業承継を促進しました。

企業立地に関しては、県外企業に対して、本市の支援制度や企業が立地するうえでの「強み」をPRし、愛知県に本社を置く企業のテクノポート福井への進出につなげました。

企業の労働力の確保を図るため、学生や社会人等を対象に、市内企業で働く魅力に加え、充実した子育て環境や住みやすい生活環境を発信し、U・Iターン就職を促進しました。また、若者や女性等、誰もが働きやすい環境を推進するため、雇用の定着や職場環境の整備に取り組む企業を支援しました。

公営競技事業は、一般会計への繰出金3億3千万円を確保することができました。

観光振興については、新幹線開業及び令和6年度秋に開催される、国内最大の観光キャンペーンである北陸デスティネーションキャンペーンに向け、本市の魅力を体験・体感できる観光メニューの造成を行いました。また、観光ポータルサイト「福いろ」を令和5年4月にリニューアルし、新たに市民ライターによる記事を掲載するなど、内容を充実した結果、閲覧数は目標を大きく上回りました。

オール福井によるおもてなしの実現については、観光事業者や市民が気軽に参加できるよう、オンラインでのおもてなし動画の配信を行いました。また、福井観光の情報発信基地とするため、ふくい観光案内所を開設しました。

多文化共生のまちづくりについては、グローバルフェスタの開催により共生の意識・理解を深めることができました。また国際交流の推進については、新たに着任したFCA（福井市文化交流大使）による保育園等への訪問を着実に実施し、市民の国際交流への参画を図りました。

福井市民文化祭や市内で活動する各種文化団体への支援のほか、「池のほとりの音楽会」を開催することで、文化芸術活動の促進に取り組みました。また、各文化施設では、特別展や養浩館庭園開園30周年を記念したイベントを開催するなど、入館者の増加を図るとともに、一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の改修や無料Wi-fiスポットの拡充など、観光客等を受け入れる環境整備にも取り組みました。

組織目標ごとの達成状況

I. 魅力ある産業の育成及び企業立地を推進し、地域の商工業を振興します

企業価値・稼ぐ力向上の推進については、新技術、新製品の開発に関して、コロナ禍で低下していた中小企業者の開発意欲は高まっているものの、開発の企画・実施のタイミングが補助期間と合わないこと等により、目標を達成することができませんでした。その他、市内企業の景気動向の改善度合いについては、目標を達成することができました。新年度は、大学ほか研究機関との連携を強化し、支援の取組を進めます。

企業立地の推進については、県外企業に対して本市の支援制度や北陸新幹線福井開業によるアクセス向上などの優位性をPRした結果、愛知県に本社を置くメニコングループがテクノポート福井に進出を決定するなど、目標を達成することができました。引き続き企業訪問や各種イベントへの出展を通して、企業の立地意向の把握や支援制度の周知に努め、本市への企業立地を推進します。

地域資源を活用した商業の振興については、西武福井店での「おいしいふくい大博覧会」の開催や、首都圏商業施設での期間限定アンテナショップの設置等により、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品のPRを行い、「ふくいの恵み」認定商品の販売額は目標を達成することができました。また、首都圏在住の著名人に福井の食材を活用した料理を提供することで、食を通じた本市の魅力を広範にPRしました。引き続き首都圏でのPR活動を積極的に展開し、本市や連携中枢都市圏域内の魅力的な特産品の情報発信、販路拡大を支援します。

II. 創業や事業承継を促進し、地域産業の活力を高めます

創業の支援については、ビジネスプランコンテストや女性視点での起業に関するセミナー・パネルディスカッションの開催を通じた創業機運の醸成のほか、支援機関による支援内容の拡充等により、創業者数の目標を達成することができました。

事業承継の促進については、連携中枢都市圏域の自治体、商工団体等が連携して、セミナーや個別相談会を開催するとともに、窓口での相談対応を行うことで、相談件数の目標を達成することができました。

来年度も取組を進め、地域産業の活力を高めていきます。

III. 中心市街地のにぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくります

新型コロナの5類移行に伴い、ハピテラスや中央公園などまちなかでのイベント開催が増加傾向にある中、イベントの組み立て方に関するセミナーへの参加など関心の高まりがみられ、相談支援の目標を達成することができました。

また、50名を超える高校生に対するイベント実施の伴走支援を通じて、学生が楽しめるイベントを学生自らの企画運営で開催するとともに、将来に向けたまちづくりのプレイヤー育成につなげることができました。

来年度も、イベント実施に向けた伴走支援を通じて、まちなかでのイベント実施を促すとともに、新たなプレイヤーの育成を図っていきます。

IV. 市内企業への就職促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します

市内企業への就職促進については、市内企業で働く魅力に加え、充実した子育て環境や住みやすい生活環境を発信し、U・Iターン就職を促進しました。U・Iターン就職促進事業に参加した学生にアンケートを実施した結果、約9割が「福井での就職意識が高まった」と回答しており、U・Iターン就職の意識醸成ができました。今後も、企業訪問や経営者との座談会などを通し、市内企業で働くことや本市で暮らすことの魅力を伝え、U・Iターン就職の促進に取り組みます。

就労機会の創出については、雇用奨励金の交付やハローワークと連携した就職相談会、企業説明会を通して、障がい者など就職が困難な人の雇用促進を図りました。今後も、就職が困難な人の雇用支援を行い、雇用定着につなげていきます。

誰もが働きやすい職場環境づくりの推進では、事業主を対象に、従業員のエンゲージメント向上と活躍する人材を育てる対策のセミナーや高齢社員の戦力化と充実化を図るためのセミナーを実施しました。参加した事業者数は目標を達成できませんでしたが、アンケート結果では、「参考になった」などの声があり、働きやすい職場環境づくりの推進につなげることができました。

V. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

令和5年度の車券売上収入は、235億3,205万円（見込み）となり、前年度と比較すると11.9%上回りました。

この結果、一般会計への繰出金は、目標を大きく上回る3億3千万円を確保することができました。

車券売上収入増加の要因として、電話・インターネット投票の売上が好調であったことに加え、他競輪場に対する臨時場外車券売場設置に係る要請活動の取組や当競輪開催における地元選手の活躍があったためと考えています。

今後も、電話・インターネット投票利用者向けの情報提供を拡充するとともに、競輪場施設の利便性の向上による新たな顧客の獲得に向けた取組により、安定した収益の確保に努めます。

<観光文化局担当>

Ⅵ. (Ⅰ) 新幹線開業効果を高めるため、地域資源を活かした広域観光の推進とともに、受入環境の充実を図ります。

新幹線開業及び令和6年度秋に開催される、国内最大の観光キャンペーンである北陸デスティネーションキャンペーンに向け、本市の魅力を体験・体感できる観光メニューの造成を行いました。

市内観光消費額については、消費額の高い宿泊を伴う県外観光客の入込数も回復傾向となりましたが、目標には達しませんでした。

今後も、新幹線開業効果を最大限に活かし、国内外からの誘客を促進するため、観光素材の磨き上げとともに、観光客の受入体制の充実に努めます。

Ⅶ. (Ⅱ) 観光出向宣伝や効果的な観光情報の発信を行い、観光地としての魅力を国内外に広め観光誘客につなげます

北陸新幹線福井開業に向け、出向宣伝や商談会に積極的に参加したほか、新たに県内の開業駅市や北陸の3市による合同観光物産展を首都圏で開催するなど、プロモーションの強化を図りました。

令和6年度に実施される、国内最大の観光キャンペーンである「北陸デスティネーションキャンペーン」に向けて今年度開催された、全国宣伝販売促進会議やエクスカースョンで、本市の観光地や食のPRを実施しました。

観光ポータルサイト「福いろ」を令和5年4月よりリニューアルし、新たに市民ライターによる記事掲載のほか人気コンテンツの強化を図るなど、内容を充実した結果、閲覧数は目標を大きく上回りました。

海外向けには、外国人目線でみた訴求力ある観光素材を、観光客が広く閲覧する観光情報メディアに掲載しました。また、これらの情報をオンラインで直接PRを行うとともに、パリ五輪・パラリンピック大会を見据え、パリ市内の「越前そば東郷」での観光情報発信を昨年度に継続して実施しました。

Ⅷ. (Ⅲ) 市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしを実現し、来訪者の満足度を高めます

オール福井でのおもてなしの実現に向け、観光事業者や市民が気軽に参加できるよう、オンラインでのおもてなし動画の配信を行ったほか、観光おもてなし市民運動推進大会を開催し、おもてなしの機運醸成を図りました。また、福井観光の情報発信基地とするため、ふくい観光案内所を開設しました。

北陸新幹線の延伸によりインバウンドの増加が見込まれることから、外国人へのおもてなしの向上を図るため、翻訳アプリを活用したセミナーを昨年に続き事業者向けに開催しました。

おもてなし体験だよりは、心温まるおもてなしの事例が多く寄せられ、好意的な意見の割合は年々高まり、目標に達しました。

観光おもてなしスーパーマイスターの派遣については、新幹線開業を迎え、おもてなしに対する関心が高まったことにより、目標を達成しました。

今後の大交流時代に向け、おもてなし運動が持続するよう、引き続き運動の推進を図っていきます。

IX. (IV) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちをつくとともに市民の国際理解を深め、グローバルに活躍できる人材を育成します

多文化共生のまちづくりと国際交流の推進については、共生の意識・理解を深めることを目的に開催しているグローバルフェスタに多くの来場があり、また新たに着任したF C A（福井市文化交流大使）による保育園等への訪問を着実に実施したことで、国際交流に参画された方が増え、目標を達成することができました。

海外姉妹友好都市とは、米国ニューブランズウィック市から提携 40 周年を記念した訪問団を受け入れたことに加え、国際感覚の豊かな青少年育成を図る「ジュニア大使」事業をコロナ禍を経て再開し、フラトン市・水原市との交流を深めることができました。

今後も様々な機会を捉え、姉妹友好都市との継続した関係構築を図るとともに、外国人と日本人の双方が文化、言語の違いを超えて相互に理解し合い、活躍できるまちづくりを推進していきます。

X. (V) 文化芸術活動を振興するとともに、郷土の文化や歴史、自然への理解を深め、観光誘客に活用します

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により、市民文化祭の体験コーナーや福井芸術文化フォーラムによる舞台鑑賞支援事業が本格的に再開されたため、文化芸術活動の参加数については目標を達成することができました。来年度以降は、文化芸術活動の若い担い手の育成や市民が文化芸術に触れる機会の拡大に努めます。

自然史博物館・美術館・歴史博物館をはじめ、一乗谷朝倉氏遺跡復元町並みや養浩館庭園などの文化施設では、入場者数等が目標を達成することができませんでした。来年度は北陸新幹線開業による効果や、北陸デスティネーションキャンペーンの開催等により、多くの方々の来福が見込まれます。このチャンスを活かし、魅力ある企画展やイベント等を開催し、来場者数の増加を図るとともに、文化施設の認知度向上に努めてまいります。

また、ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業において、巡回パネル展を開催し、圏域内の文化資源の魅力発信に取り組みました。来年度も、引き続き他の市町と連携して、魅力ある文化資源を活用し、観光誘客と交流人口の増加を目指します。

I. 魅力ある産業の育成及び企業立地を推進し、地域の商工業を振興します

1	企業価値・稼ぐ力向上の推進	DX	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	達成度	
実 行 内 容						
行動目標	ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の中小企業者の連携を促し、新製品・新サービスの開発、ビジネスモデルの変革に向けた取組を支援することで、市内中小企業者の稼ぐ力の向上につなげます。 また、中小企業の中核を担う人材の育成支援や、デジタル技術を活用したDX等への取組を支援することで、生産性や企業価値の向上につなげます。					
取組内容	○デジタル技術の活用に対する支援 ・ふくい企業価値向上人財育成研修会 参加：9社（約18人） （10/3、10/24、11/15、12/13、1/17、2/21） ・伴走型企业コンサルティング支援事業 支援企業数：3社 ○新技術、新製品の開発に対する支援 ・新事業創出支援補助金 補助件数：2件 （募集期間：4/5～5/31、審査会：6/23、中間報告：11/13、年度末報告：3/8）					
指 標						
計 画			結 果・成 果			
④7 市内企業の景気動向の改善度合い ：+11.0ポイント 新技術、新製品の開発に対する支援件数 （累計）：16件（4年度）→20件（5年度） 中小企業のDX人材の育成、DX等の 取組に対する支援件数（累計） ：29件（4年度）→45件（5年度）			④7 市内企業の景気動向の改善度合い ：+32.3ポイント 新技術、新製品の開発に対する支援件数 （累計）：18件 中小企業のDX人材の育成、DX等の 取組に対する支援件数（累計） ：41件			
成果・課題	市内企業の景気動向は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済の正常化が進む中、目標を達成することができました。今後とも各種政策の実施により、市内中小企業者を支援していきます。 新技術、新製品の開発に関しては、コロナ禍で低下していた中小企業者の開発意欲は高まっているものの、開発の企画・実施のタイミングが補助期間と合わないこと等により、目標を達成することができませんでした。今後は、事業の周知に取り組むことに加え、大学ほか研究機関との連携による新技術、新製品の開発を支援していきます。 デジタル技術の活用に関しては、研修会への参加企業数について目標を達成することができませんでした。引き続き、幅広く研修会の周知に取り組み、確実な支援につなげます。					

2	企業立地の推進	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、福井市企業立地戦略（令和４年度～８年度）に基づき、企業立地を推進します。 首都圏をはじめとする県外企業に対して、本市の支援制度や北陸新幹線福井開業によるアクセス向上などの優位性をPRします。				
取組内容	○企業立地支援 ・企業に対する支援制度の情報発信 ・企業立地助成金等の活用に向けた企業との協議及び企業立地支援指定 ＊企業立地支援指定数　：６件 ・空き工場、空きオフィス登録に向けた不動産会社等との協議、調整 ＊空き工場等新規登録　：２件 ＊空きオフィス新規登録：２件 ・空き工場、空きオフィス登録の促進や土地情報の収集と企業への情報発信 ○企業訪問等 ・企業訪問による情報交換や立地意向の把握 ・「企業立地フェア」（５月、東京ビッグサイト）への出展 ・立地意向アンケート調査（７月）：５００社 ・立地意向アンケート調査の結果に基づく企業への情報提供と関係強化 ・「北陸技術交流テクノフェア 2023」（１０月）での支援制度の周知 ・「福井県企業立地・港セミナー in 大阪」（１１月）での支援制度の周知、本市のPR ・「福井市応援隊交流会」（２月）での支援制度の周知 ・「福井県企業立地トライアルツアー」での支援制度の周知、本市のPR（２・３月）				
	指 標				
計画		結果・成果			
市外からの企業誘致数：２件		市外からの企業誘致数：２件			
成果・課題	県外企業に対して、本市の支援制度や北陸新幹線福井開業によるアクセス向上などの優位性をPRした結果、メニコングループ（本社：愛知県）がテクノポート福井に進出を決定するなど、目標を達成することができました。 引き続き、企業訪問等により企業の立地意向の把握や支援制度の周知に努めるとともに、各種イベントへの出展を通して本市のPRを行うなど、本市への企業立地を推進します。				

3	地域資源を活用した商業の振興	8 働きがいも 経済成長も	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	西武福井店における「おいしいふくい大博覧会」や、北陸新幹線福井開業に向けた首都圏での物産展、期間限定のアンテナショップを開催し、「ふくいの恵み」認定商品をはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品の認知度向上を図ります。			
取組内容	○「おいしいふくい大博覧会」の開催 ・6/7～6/12 西武福井店（6階催事場）44事業者（うち認定事業者21）参加 ○ふくい嶺北連携中枢都市圏内の特産品を販売する物産展等の開催 ・7/5～7/11 日本橋三越本店「福井市納涼フェア」 ・12/28～1/15 福福館 市町PRコーナー ○「福いいネ！アンテナショップ」の設置 北陸新幹線福井開業に向け、首都圏商業施設に期間限定のアンテナショップを設置 ・4/29～5/15 新宿マルイ ・5/31～6/13 大宮マルイ ・8/24～9/7 マロニエゲート銀座Ⅰ ・9/28～10/11 武蔵小杉東急スクエア ・10/25～11/7 吉祥寺マルイ ・11/14～11/27 大宮マルイ 北陸新幹線福井開業に向けたカウントダウンイベントにおいて、地元の食材を活用した料理を提供 ・8/27、8/28 マロニエゲート銀座Ⅰ 福井乃喜心 鯖街道（開業200日前イベント） ・2/3 サバティーニ・ディ・フェレンツェ 東京店（開業直前イベント）			
	指 標			
計画		結果・成果		
「ふくいの恵み」認定商品販売額 ：906,383千円（4年度）→1,000,000千円（5年度）		「ふくいの恵み」認定商品販売額 ：1,007,096千円		
成果・課題	「おいしいふくい大博覧会」は、来場者にとって魅力ある企画内容と商品展開により、市内の消費需要を取り込み、認定商品及び福井の食の普及・振興を着実に進めることができました。 県外での取組としては、東京事務所、農林水産部と連携し、日本橋三越本店での商品販売を行うほか、北陸新幹線福井開業に向け、首都圏の商業施設に期間限定のアンテナショップを設置し、商品のマーケティングや販路拡大の支援、首都圏での認知度向上を強化しました。 また、首都圏在住の著名人に福井の食材を活用した料理を提供することで、食を通じた本市の魅力をPRしました。 引き続き首都圏でのPR活動を積極的に展開し、本市を含め連携中枢都市圏の魅力的な特産品の情報発信、販路拡大を支援します。			

II. 創業や事業承継を促進し、地域産業の活力を高めます

4	創業の支援	8働きがいも 経済成長も	9産業と技術革新の 基盤をつくらう	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	本市産業の活力を高めるため、創業支援事業者や金融機関など関係機関との連携を強化し、創業者への支援に取り組みます。 また、地域課題の解決が見込まれる事業者等の創業に対し初期費用を支援することで、地域経済の活性化を目指します。				
取組内容	○市内での創業支援 ・創業支援資金 利用 3 件 ・創業支援等事業計画に基づく創業者数 128 人 （熱意ある創業支援事業補助金、創業支援資金 [市]、ワンストップ相談窓口、開業セミナー [商工会議所]、創業ハズオン支援 [アントレセンター] など） ○ビジネスプランコンテスト ・プラン募集（6/1～10/31） 学生の部：107 件、一般の部：26 件 ・ビジコンミーティング（プラン作成講座）全 4 回 最終選考会（2/17） ○女性のための起業・事業承継を考えるセミナー＆パネルディスカッション（3/12）				
指 標					
計画			結果・成果		
総48 市内での創業者数：90 人			総48 市内での創業者数：128 人		
成果・課題	市内での創業者数については、各支援機関における創業機運の醸成や支援内容の拡充により、目標を達成しました。 近年、市内での創業希望者が増加する中、この好循環を維持することが重要です。新年度も、資金面での支援に加え、ビジネスプランコンテストやセミナーの開催による創業機運の醸成に向けた取組を継続するとともに、支援機関との連携を強化し、創業の促進を図ります。				

5	事業承継の促進	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	市経済の活力維持のため、福井県事業承継・引継ぎ支援センターをはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の商工団体等と連携し、圏域内における事業承継を促進します。 また、事業承継を進める事業者に対し資金面での支援を行うことで、中小企業者の技術やノウハウの引継ぎを促し、地域経済の活力維持を図ります。				
取組内容	○ふくい嶺北連携中枢都市圏事業承継推進プロジェクト ・親族事業承継計画作成セミナー（8/21） ・事業承継計画作成個別相談会（8/22～24） ○事業承継促進 ・女性のための起業・事業承継を考えるセミナー＆パネルディスカッション（3/12） ・窓口相談 ○事業承継の広報 ・広報ふくい（7/25号） 個別相談会開催案内の掲載 ・広報ふくい（11/10号） 特集記事掲載 どうする事業承継 地域経済のバトンを次へつなぐために ・ふくい嶺北連携中枢都市圏構成市町及び商工団体等にセミナー及び相談会について案内				
指 標					
計 画			結 果・成果		
事業承継相談件数 ：26件（4年度）→28件（5年度）			事業承継相談件数：38件		
成果・課題	ふくい嶺北連携中枢都市圏域での事業承継推進プロジェクトを通じた個別相談会の開催や窓口でのきめ細かな相談対応により、目標を上回ることができました。 事業承継は全国的な経営課題となっており、ますます円滑な事業承継への支援が重要となっています。来年度も、福井県事業承継・引継ぎ支援センター及び連携中枢都市圏域の自治体、商工団体と連携を図りながら、個別相談会等を通じて、後継者不在の事業者を適切にサポートしていきます。				

Ⅲ. 中心市街地のにぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくります

6	まちなかにおける民間主体の賑わいづくりの促進	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	まちなかの賑わいを高めるため、団体や学生によるまちなかでの活動を伴走支援し、新たなプレイヤーの育成や、まちなかでのイベントの増加と定着を図ります。				
取組内容	○まちなかでのイベント開催に関する支援 ・まちなかイベントプラットフォーム（イベント開催に関する相談窓口）を設置（イベント件数：11 件） - 企画内容の相談、集客や広報に関するアドバイス、スポンサー獲得に向けたサポートを個別に実施したほか、プレイヤー向けセミナー、ワークショップを開催しイベント開催の支援を行った。 ・賑わいづくりに寄与するイベントに対し、開催費用の一部を支援（利用件数：3 件） ○学生企画まちなかイベント伴走支援事業（まちなか「アオハル」プロジェクト） ・高校生が自ら考え、主体となって、学生が楽しめるまちなかにするための企画を実現【アオハルフェス】 10/29（日） ハピテラス、観光交流センター、西武福井店正面玄関、ホテルフジタ シンシアリリィ、ハイディングプレイス、Café CoCotte、XSTAND 高校生プレイヤー：52 名 企画：17 企画（ダンスパフォーマンス、パン販売、食の祭典、即興オーケストラ、韓国風カフェ、謎解き×カフェ、LGBTQ に関する語り場、秋スイーツ販売 等） 参加者：4,000 人（ハピテラス 3,000 人、その他周辺 1,000 人）				
指 標					
計 画		結 果・成 果			
まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：9 件（4 年度）→10 件（5 年度）		まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：11 件			
成果・課題	新型コロナの5類移行に伴い、ハピテラスや中央公園などまちなかでのイベント開催が増加傾向にある中、イベントの組み立て方に関するセミナーへの参加など、イベント開催に対する関心の高まりがみられ、目標を達成することができました。 また、50 名を超える高校生に対するイベント実施の伴走支援を通じて、学生が楽しめるイベントを学生自らの企画運営で開催するとともに、将来に向けた まちづくりのプレイヤー育成につなげることができました。 来年度も、イベント実施に向けた伴走支援と費用の一部補助により、まちなかでのイベント実施を促すとともに、新たなプレイヤーの育成を図っていきます。				

IV. 市内企業への就職促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します

7	市内企業への就職促進	8 働きがいも 経済成長も	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	人口減少や若者の県外流出により生産年齢人口が減少する中、安定した労働力を確保するため、高校生や大学生、県外在住の社会人に対し、就活イベントや民間企業訪問等を通して、市内で働く魅力を伝え、市内企業への就職に繋がります。			
取組内容	○地元高校生を対象に、地元企業の魅力を伝えるため企業訪問を実施 開催日：8/3、7日、10日 参加者：22人			
	○大学生等を対象に、ふくいU・Iターンサマーキャンプ（インターンシップ）を実施 開催日：8/22～26 参加者：6人			
取組内容	○大学生等を対象に、企業訪問ツアーを実施 開催日：2/14～15、2/16～17 参加者：7人			
	○社会人を対象に、オンライン対談及び企業訪問や移住に関する情報提供を行う就職支援ツアーを実施 開催日：6/30、7/14、7/21、3/12 参加者：4人			
取組内容	〔令和5年度における就職状況調査の結果〕			
	・過去に大学生等を対象とした事業に参加した者のうち、令和6年3月に大学を卒業し、市内企業に就職した人数：10人			
取組内容	・令和4年度の社会人を対象とした事業に参加した者のうち、令和6年3月までに、市内企業に就職した人数：3人			
指 標				
計画		結果・成果		
総49 市の就労支援を受けた者が 市内企業へ就労した割合：45.7%		総49 市の就労支援を受けた者が 市内企業へ就労した割合：36.1% (36人中13人)		
成果・課題	地元高校生を対象に、市内企業を訪問し、企業の魅力や特色を伝える事業を実施しました。また、事業に参加した生徒の声や事業の様子を掲載した企業情報誌を、県内の高校生全員に配布することで、参加していない生徒に同世代の活動状況を伝え、地元就職への意識付けを図りました。			
	大学生に対しては、企業訪問や経営者との座談会、U・Iターン者との意見交換会などを通じて、市内企業で働くことのメリットや企業の魅力を伝えました。			
成果・課題	社会人に対しては、希望に沿った企業への訪問に加え、その家族の生活環境を確認できる機会を通して、移住及び市内企業への就職を促進しました。			
	学生が大手就職情報サイトを活用して企業を選択することが一般的となった上、都市圏にある大手企業が積極的な人材確保を図っているため、学生にとって企業選びの選択肢は広がっており、市が実施した事業に参加する学生が少なくなったと考えます。今後は、SNS等による企業の魅力発信など企業の知名度向上を図りながら、対象を大学1・2年生にも広げ、U・Iターン就職に繋がっていきます。			

8	就労機会の創出と働き方改革の推進	8 働きがいも 経済成長も	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	雇用の安定を図るため、障がい者や高齢者、出産や子育てを機に離職した女性などを対象に、特性やライフステージに応じたセミナーや面接会を開催し、就労への機会を創出します。 また、企業に対し、働き方改革に関するセミナーの開催や奨励金の交付を通じて、働き手の希望やライフステージに応じて活き活きと働き続けることができる職場環境の改善に向けた取組を働きかけます。			
取組内容	○障がい者や母子家庭などの母等の、更なる雇用定着を図る奨励金支給 支給件数：21 件 ○就職に関し悩みを抱える若者に対し就職相談会の開催 開催日：7/11、11/22、3/19 参加者 6 組 ○就職に必要な書類の書き方や面接時のマナーなどが学べる障がい者向け就職支援セミナーの開催 開催日： 9 月 3 回（26 日、27 日、29 日）…セミナー 10 月 3 回（3 日、5 日、6 日）…各企業との面接会 参加者 6 人 就職者数：2 人 ○一度に複数の企業と面接ができる子育てママのための就職説明会の開催 開催日：11/28、12/15 参加者 17 人 就職者数 6 人 ○高年齢者雇用推進セミナー 開催日：10/11 参加企業 41 社 ○働き方改革セミナー 開催日：9/21 参加企業 31 社			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
◎50 市内民間企業の障がい者雇用率：2.60% 多様な人材活用や職場環境改善に関するセミナーへの参加企業数：63 社（4 年度）→70 社（5 年度）		◎50 市内民間企業の障がい者雇用率：2.61% 多様な人材活用や職場環境改善に関するセミナーへの参加企業数：72 社		
成果・課題	障がい者や母子家庭の方などを対象とした雇用奨励金の支給に加え、就職に悩む若者や障がい者、女性を対象にした相談会やセミナーなどを実施し、就労の機会を創出しました。 中小企業雇用相談員が企業訪問する際に、障がい者雇用に関する相談窓口や支援制度などの情報提供に努めたことにより障がい者の雇用に繋がり、今年度の指標である市内民間企業の障がい者雇用率については達成することができました。 働き方改革を推進するために実施した各種セミナーでは、開催の周知に力を入れた結果、参加する企業が増え、今年度の指標を達成できました。今後はオンラインセミナーなどによる受講も検討し、さらに参加企業の増加に努めていきます。			

V. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

9	競輪事業による収益の確保	3 すべての人に 健康と福祉を	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	競輪事業は、社会の振興・発展や公益増進、地方財政健全化を目的としており、本市においても昭和 25 年の開設以来、一般会計への繰出しを行い本市の振興と財政健全化に寄与してきたところで す。 今後も、本市の収益事業としての責務を果たすため、インターネット投票利用者向けの情報提供 の拡充や、臨時場外車券売場の拡充に向けた要請活動、また、来場者の利便性向上による新たな顧客 の獲得に向けた取組により車券売上収入の増加を図り、安定的・継続的に収益を確保します。			
取組内容	【競輪開催事業等】 ○本場開催:22 開催 65 日（落雷により F I 2 日間開催中止） G Ⅲ(4 日制)Ⅰ開催 4 日（7 月:開設 73 周年記念競輪） F I(3 日制)6 開催 16 日（4 月、5 月、9 月、10 月、11 月、3 月開催） F Ⅱ(3 日制)15 開催 45 日（4 月:Ⅰ開催、 5 月:Ⅰ開催、6 月:2 開催、8 月:2 開催、9 月:Ⅰ開催、 10 月:Ⅰ開催、11 月:3 開催、2 月:Ⅰ開催、3 月:3 開催） ＊うち、大垣競輪場借上げによるミッドナイト競輪 （6 月:Ⅰ開催、 9 月:Ⅰ開催、11 月:Ⅰ開催、2 月:Ⅰ開催） ＊うち、モーニング競輪（5 月:Ⅰ開催、 8 月:Ⅰ開催、10 月:Ⅰ開催、11 月:Ⅰ開催、3 月:2 開催） ○場外発売:555 日(延日数) ○車券売上収入:225 億 7,742 万円 ○福井競輪事業収益向上推進委員会の活動 ・委員会開催(8 月、1 月) ・要請活動:平塚競輪場、静岡競輪場(5 月)、宇都宮競輪場、ラ・ピスタ新橋(2 月) 【新規顧客獲得及びファンサービス等】 ○子育て世帯を対象とした企画を実施 子ども向け大型プールの設置（7 月）、福井新聞社「ふくまむ祭」への出展（10 月）、 「ケーブルテレビフェスタ 2023」への出展（10 月） ○自転車に乗れない子どもを対象に自転車初乗り教室「ファミチャリフェスタ 2023」を開催（9 月） ○県内のクラブ・部活動に所属する小中高生を対象に「福井競輪場バンク走行会」を開催（11 月） ○北陸新幹線沿線地の大宮競輪場にて、東京事務所と連携した出向宣伝を実施（1 月） ○北陸新幹線福井開業に合わせ、「北陸新幹線で福井けいりんを観に行こう」イベントを実施（3 月） ○電話・インターネット投票利用者対象のキャッシュバックキャンペーンを実施（本場開催時） ○初心者ガイダンス、新人選手紹介や選手会縁日等のファンサービスを実施（75 回）			
指 標				
計 画		結 果 ・ 成 果		
一般会計への繰出金：250,000 千円		一般会計への繰出金：330,000 千円		
成果・課題	車券売上収入は、225 億 7,742 万円となり、前年度と比較して 7.4%増となりました。コロナ禍以 降、インターネット投票の車券売上が好調なことに加え、今年度は F Ⅱの昼間開催において月初め の開催日程により、車券売上収入の増加となりました。 今後は、電話・インターネット投票利用者向けの情報提供の拡充をはじめ、北陸新幹線福井開業に 合わせた利用者優待キャンペーンや TikTok を活用した場内 PR 動画の配信などによる新規顧客獲得 に向けた新たな取組により、安定した収益の確保に努めます。 また、来年度からは、施設の改修工事に取り組むことから、工事の適正な進捗管理に努め、今後の 更なる収益の確保につなげます。			

VI. (I) 新幹線開業効果を高めるため、地域資源を活かした広域観光の推進とともに、
受入環境の充実を図ります

10	観光資源の磨き上げと受入環境の充実	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	新幹線開業効果を高めるため、観光拠点（一乗谷、まちなか、越前海岸）をはじめとする観光資源のさらなる磨き上げや受入環境の整備を図り、観光地の魅力を高めます。 また、本格的なインバウンドの再開を受け、SNS 等の活用や多言語での情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在できるよう取り組みます。				
取組内容	○体験型観光プログラムの造成等 ・旅の体験手帳「ふくのね」vol.10 発行（9 月）（36 件）、 vol.11 発行（2 月）（37 件） ・養浩館庭園での座禅体験企画の造成【新規】（3 件） ○「一乗谷」の取組 ・朝倉・永平寺ダイレクトバス運行（4 月～）、 ・復原町並の SNS 映えスポット「和傘スカイ」（4～11 月） ・朝倉氏遺跡周遊謎解きイベント「戦国宝探し」（7～10 月） ○越美北線観光利用促進事業 ・イベント列車（7 月、9 月、11 月） ・東郷駅発着まち歩き（9 月、10 月） ○「まちなか」の取組 ・ふくい桜まつり（3～4 月） ライトアップ、 ふくい桜城下町等 ・夜間観光促進事業 【新規】デジタルナイトイベント（3 月） ○「越前海岸」の取組 ・海水浴場イベント（7～8 月） ・こしの水仙まつり（12 月※荒天中止） ・園地等整備（鮎川大岬園地、鷹巣遊歩道） ○宿泊者増への取組 ・恐竜ホテル改修支援（3 件） ・多様な宿泊施設整備支援【新規】（7 件） ・ふくい酒蔵ある記キャンペーン（4 月～） ・千歳くんはラムネ瓶のなかコラボ事業（8～10 月） ○海外向けの取組 ・インバウンド向けパンフレットの制作・配布（簡体字、繁体字を追加し 4 言語に対応） ・通訳ガイド育成のためのレクチャー動画を公開（3 コンテンツ） ・事業者による外国人観光客の受入環境整備のための取組支援（16 件）				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
体験交流型観光メニュー数 ：74 件（4 年度） →75 件（5 年度） 福井県内の外国人延べ宿泊者数 ：13,880 人（4 年） → 27,500 人（5 年） 総51 市内観光消費額 ：218 億円（4 年） → 301 億円（5 年）			体験交流型観光メニュー数 ：76 件 福井県内の外国人延べ宿泊者数：63,830 人（5 年） 総51 市内観光消費額 ：281 億円		
成果・課題	新幹線開業及び令和 6 年度秋に開催される、国内最大の観光キャンペーンである北陸デスティネーションキャンペーンに向け、本市の魅力を体験・体感できる観光メニューの造成を行いました。 市内観光消費額については、消費額の高い宿泊を伴う県外観光客の入込数も回復傾向となりましたが、コロナ前の 9 割程度に留まったことから、目標には達しませんでした。 今後も、新幹線開業効果を最大限に活かし、国内外からの誘客を促進するため、観光素材の磨き上げとともに、観光客の受入体制の充実に努めます。				

Ⅶ. (Ⅱ) 観光出向宣伝や効果的な観光情報の発信を行い、観光地としての魅力を国内外に広め観光誘客につなげます

11	国内外に向けた積極的な プロモーションの実施	8 幅が広い 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行 動 目 標	新幹線開業に向け、首都圏等や新幹線沿線都市等での出向宣伝やイベント等を実施し、積極的な観光プロモーションを行います。 また、嶺北エリアの観光情報を集約した観光ポータルサイト「福いろ」や、訴求力が高いInstagramなど多様な媒体を活用し、国内外に向けた効果的な情報発信を行います。				
取 組 内 容	○観光ポータルサイト「福いろ」の運用（4月～） ○SNSによる情報発信 ・フェイスブック（いごこち満点ふくい） ・You Tube（福井市観光） ・Instagram（福いいネ！くん） 福いいネ！グルメフォトコンテスト（7～9月） ○ポスター集中掲出 ・JR東京駅八重洲口、JR山手線主要15駅（3月） ○出向宣伝や商談会、新幹線沿線都市での観光PR（東京、長野、埼玉、群馬、茨城等） ○開業関連都市との合同観光物産展の開催【新規】 ・県内4市（あわら、敦賀、越前、福井）11月（さいたま） ・北陸3市（金沢、富山、福井）2月（東京） ○北陸デスティネーションキャンペーンに向けた観光PR【新規】（11月） ・全国宣伝販売促進会議での観光PRブース、屋台ブースの出展 ・エクスカッション（市内視察先：一乗谷朝倉氏遺跡、養浩館庭園、大安禅寺、杵と臼） ○海外向け情報発信 ・外国人目線でみた訴求力ある観光素材の情報発信（英字メディア2社による取材・出稿） ・訪日客向け旅行代理店、メディア等へのオンライン営業活動（3回） ・仏パリの飲食店「越前そば東郷」への観光ポスター・パンフレット配架（1～3月）				
指 標					
計画			結果・成果		
商談会・出向宣伝・営業の実施件数：20件 市ポータルサイト閲覧数 ：163万ページビュー（4年度） →200万ページビュー（5年度）			商談会・出向宣伝・営業の実施件数：32件 市ポータルサイト閲覧数 ：428万ページビュー		
成 果 ・ 課 題	観光プロモーションとしては、新幹線開業に向け、出向宣伝や商談会に積極的に参加したほか、新たに県内の開業駅市や北陸の3市による合同観光物産展を首都圏で開催するなど、強化を図りました。 また、令和6年度開催の国内最大の観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」に向けて今年度開催された、全国宣伝販売促進会議やエクスカッションで、本市の観光地や食のPRを実施しました。 情報発信としては、観光ポータルサイト「福いろ」を令和5年4月よりリニューアルし、新たに市民ライターによる記事を掲載するほか人気コンテンツの強化を図るなど、内容を充実した結果、閲覧数は目標を大きく上回りました。 海外向けには、外国人目線でみた訴求力ある観光素材を、観光客が広く閲覧する観光情報メディアに掲載しました。また、オンラインでの営業活動を通しこれらの情報を訪日客向け旅行代理店等に直接お知らせするとともに、パリ五輪・パラリンピック大会を見据え、パリ市内の「越前そば東郷」での観光情報発信を昨年度に引き続き実施しました。 今後も開業効果を持続するため、積極的なプロモーション活動及び魅力的かつ効果的な観光情報の発信に努めます。				

Ⅷ. (Ⅲ) 市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしを実現し、
来訪者の満足度を高めます

12	オール福井でのおもてなしの充実	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	福井を訪れる観光客を温かく迎え入れ、再び訪れたいと思っていただけるよう、「観光おもてなし市民運動」に取り組み、市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしのさらなる機運醸成を図ります。 また、新幹線開業に合わせて新たに福井市観光交流センター内に開設する「ふくい観光案内所」においては、^{しあわせ}幸福なふるさと感じさせる空間演出とともに、県内各地の魅力が詰まった、福井観光の情報発信基地とするため、準備を本格化します。				
取組内容	○観光おもてなし市民運動推進事業 ・おもてなし体験日より募集（1～12月） ・観光おもてなし市民運動推進会議（5月、9月、1月） ・観光おもてなしオンライン講習会（11～2月）参加者55人 ・観光おもてなしマイスター認定研修・認定試験（10、11月）受講者11人認定者6人 ・観光おもてなしスーパーマイスター派遣（7、8月） ・観光おもてなし大賞表彰（2月）受賞4団体 ・観光おもてなし市民運動推進大会（2月）参加者約150人 ○おもてなし観光ガイド ・観光おもてなしガイド案内（オーダーメイド、募集型、無料定時）163回（4月～） ・観光おもてなしガイドセミナー4回（4月、11月、1月、2月） ・観光おもてなしガイド講座（1～2月）応募者12人認定者11人 ○海外旅行者向け ・翻訳アプリを活用した外国人との会話練習セミナー（2月）参加者16人				
指 標					
計 画			結 果・成果		
総53 福井市を訪れて良かったと感じた人の割合：96.0%以上 観光おもてなしスーパーマイスターの派遣回数：3回 ふくい観光案内所開設：3月			総53 福井市を訪れて良かったと感じた人の割合：96.3% 観光おもてなしスーパーマイスターの派遣回数：3回 ふくい観光案内所開設：3月		
成果・課題	オール福井でのおもてなしの実現に向け、観光事業者や市民が気軽に参加できるよう、オンラインでのおもてなし動画の配信を行ったほか、観光おもてなし市民運動推進大会を開催し、おもてなしの機運醸成を図りました。また、福井観光の情報発信基地とするため、ふくい観光案内所を開設しました。 北陸新幹線の延伸によりインバウンドの増加が見込まれることから、外国人へのおもてなしの向上を図るため、翻訳アプリを活用したセミナーを昨年に続き事業者向けに開催しました。 おもてなし体験日より、心温まるおもてなしの事例が多く寄せられ、好意的な意見の割合は年々高まり、目標に達しました。 観光おもてなしスーパーマイスターの派遣については、新幹線開業を迎え、おもてなしに対する関心が高まったことにより、目標を達成しました。 今後の大交流時代に向け、おもてなし運動が持続するよう、引き続き運動の推進を図っていきます。				

IX. (Ⅳ) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちをつくとともに
市民の国際理解を深め、グローバルに活躍できる人材を育成します

13	多文化共生のまちづくりと国際交流の推進	10 人や国の不平等をなくそう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	国際交流では、姉妹都市から受け入れている福井市国際文化交流大使(FCA) と連携して、市民の国際理解を深めるとともに姉妹友好都市とのさらなる交流を図ります。 また、多文化共生では、外国人市民が地域の人とつながり、安心して生活し、地域の担い手として活動できるよう、公民館での講座をはじめとした各種多文化共生講座を開催します。				
取組内容	○海外姉妹友好都市交流事業 【米国・ニューブランズウィック市】 ・市訪問団受入れ（11 月）訪問団 7 人 【米国・フラトン市】 ・ジュニア大使受入れ（6 月）一行 11 人 【韓国・水原市】 ・水原市とのオンライン市民交流（月 1 回）延べ 133 人 ・小学生芸術交流団来福（11 月） 13 人 ・ジュニア大使派遣（3 月）一行 13 人 【F C A（福井市国際文化交流大使）】 ・国際理解教室（保育園等 52 か所） 延べ 952 人 ・出前講座（児童館や公民館など市内 13 か所） 延べ 452 人 ○多文化共生推進事業 ・外国人向け防災教室（11 月）12 人 ・総合防災訓練（6 月）13 人 ・日本文化体験（「浴衣で養浩館ウォーク」等 計 3 回） 延べ 77 人 ・文化理解交流（「ワールドクッキング」、JC 主催事業への協力等 計 6 回）延べ 667 人 ・児童生徒サポーター研修（講座 計 9 回）延べ 36 人 ・歴史文化通訳研修（3 回）延べ 74 人 ・交流型日本語教室「しゃべり場」（計 15 回）延べ 238 人 ・児童生徒への日本語初期指導 延べ 986 人 学校への通訳派遣 延べ 14 人 ・「グローバルフェスタ 2023」を開催（10 月） 3,000 人				
指 標					
計画			結果・成果		
総22 国際交流事業等への市民参加者数 ：6,240 人（4 年度）→6,300 人（5 年度） 地域における多文化共生講座：3 地区（5 年度）			総22 国際交流事業等への市民参加者数 ：7,135 人 地域における多文化共生講座 ：3 地区（清明・円山・豊）		
成果・課題	国際交流事業等への市民参加者数については、多文化共生の意識啓発や理解を深めることを目的に開催しているグローバルフェスタに今年も多く市民にお越しいただいたほか、新たに着任した F C A による保育園等への訪問を着実に実施したことで、国際交流に参画された方が増え、目標を達成することができました。 海外姉妹友好都市との交流においては、米国ニューブランズウィック市から、提携 40 周年を記念した訪問団を受け入れました。また、コロナ禍を経て、青少年が相互に行き来して相手都市と交流する「ジュニア大使」事業を再開し、フラトン市・水原市との交流を深めることができました。 今後も様々な機会を捉え、姉妹友好都市との継続した関係構築を図るとともに、外国人と日本人の双方が文化、言語の違いを超えて、相互に理解し合い活躍できるまちづくりを推進していきます。				

X. (V) 文化芸術活動を振興するとともに、郷土の文化や歴史、自然への理解を深め、観光誘客に活用します

14	文化芸術活動の活性化	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	達成度	
実行内容					
行動目標	子どもの頃から、誰もが身近に文化芸術に親しみ、創作活動ができるよう、芸術鑑賞や体験機会の充実を図るとともに、福井市文化協会が主催する福井市民文化祭や各種文化団体の活動を支援します。 また、新たな文化芸術イベントを開催するなど、多くの市民が実際に文化芸術活動に触れる機会を増やすことで、活動への参加を促し、担い手の育成に取り組みます。				
取組内容	○市民文化祭（参加者総数：4,171人） [展示部門] - 開催日：11/3～4、参加者数：2,761人 [芸能大会] - 開催日：11/5、参加者数：1,410人 ○文化奨励賞授与式 - 開催日：11/3、受賞者：1名 ○文化芸術活動の支援（参加者総数：5,002人） ・池のほとりの音楽会 - 開催日：8/20、9/17、会場：養浩館庭園、参加者等：20組出演、275人鑑賞 ・日本伝統芸能鑑賞（能楽） - 開催日：4/24、会場：ハピリン能楽堂、鑑賞者数：160人 ・福井芸術文化フォーラムの活動（企画・運営・舞台芸術などの担い手の育成、文化交流の促進、文化芸術活動の広報・情報の提供） - 参加者計 4,567人				
指標					
計画			結果・成果		
⑤4 市民文化祭等の参加者数 : 7,000人（5年度）			⑤4 市民文化祭等の参加者数 : 9,173人		
成果・課題	市民文化祭は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による体験コーナーの本格的な再開や、同日に開催された田原町商店街の地元イベントにおいて積極的にPR活動を行ったことにより、令和5年度の参加者数が4,171人へ増加しました。また、福井芸術文化フォーラムの活動も同様に、子どもたちの舞台鑑賞を支援する事業を本格的に再開したことにより、4,567人へ大きく増加したことで、目標の7,000人を上回る9,173人となりました。 来年度以降は、引き続き文化芸術団体の活動を支援するとともに、その活動の担い手育成に取り組めます。また、市民がアオッサや養浩館庭園等で気軽に音楽活動に出演・鑑賞できるイベントを開催するなど、文化芸術に触れる機会の拡大に努めます。				

15	文化施設の魅力向上	4質の高い教育をみんなに	11住み続けられるまちづくりを	達成度	
実行内容					
行動目標	北陸新幹線福井開業を控え、歴史・文化施設の魅力を向上させる取組を実施し、SNS等で随時、最新情報を発信します。 一乗谷朝倉氏遺跡では、国内外の観光客を受け入れる環境づくりに取り組むとともに、県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館や地元団体等と連携したイベント等を開催します。 養浩館庭園では、お茶席やライトアップのほか、新たに開園 30 周年の記念事業を実施します。 さらに、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館及びグリフィス記念館では、特別展や企画展の開催に加え、PR グッズなどを制作し、観光客の満足度を高めます。				
取組内容	○一乗谷朝倉氏遺跡復原町並（入場者数：140,938 人） ・遺跡内周遊バス「唐門号」運行（4/1～11/30、土日祝 6 往復/日） ・朝倉・永平寺ダイレクトバス「騎馬武者号」運行（4/29～3/31、1 日 3 便） ・復原町並町屋建物屋根等改修工事（施工：6～12 月） ・無料 Wi-fi スポット拡充（下城戸エリア） ・山城登山者向け案内板リニューアル ・朝倉義景没後 450 周年事業：ランプシェード展(8/31～9/2 ほか)、越前朝倉戦国まつり・越前朝倉万灯夜補助（約 2.5 万人来場） ・朝倉氏の出自・伝承プロモーション事業講演会(3/25) ○養浩館庭園（入園者数：50,351 人） ・開園 30 周年記念事業：「うつしよの庭/土屋公雄展」（6/17～7/17）、「榎木孝明朗読会」（11/3） ・お茶席(4/15～5/7、10/9～11/5 土日祝 19 日間、3/16～17)、庭カフェ（11/11～13）、秋のライトアップ（10/6～11/26 金土日祝・祝前日 28 日間）、「あじさい展」（6/3～11）、「水仙展」（1/12～22） ○愛宕坂茶道美術館（入館者数：8,201 人） ・特別展：「日本茶々茶 お茶紀行 幻のお茶を訪ねて」（3/1～5/12） ・企画展：「振茶」（R5.3/4～5/14）「涼風颯々 夏の茶道具」（5/18～8/27）、 「茶道具 虫図鑑」（8/30～11/26）、「早川國一さんの蒔絵の世界」（11/29～2/25） ○橘曙覧記念文学館（入館者数：4,476 人） ・企画展：「作家と鳥」（R5.3/9～5/21）、「描かれた 曙覧の姿」（5/25～9/3）、 「曙覧と周辺の人々 江戸時代の知のネットワーク」（9/8～12/3）、 「冬の情景をうたう」（12/7～3/10）、「作家たちのティータイム」（3/14～5/19） ・令和独楽吟（募集：9/1～11/30、表彰式：R3/3、R4 入賞作品パネル展：9/18～26 ほか） ○グリフィス記念館（入館者数：11,008 人） ・企画展：「日下部太郎の手紙を読む」（9/1～28）、「つながるグリフィス相関図」（2/23～3/20） ・イベント：グリフィス春の芸術祭（3/23～31） ○PR グッズ作成・販売：独楽吟一筆箋、独楽吟ハンドタオル、愛宕坂茶道美術館乾干菓子 ○SNS による情報発信（発信数：1,360 件）				
指 標					
計画			結果・成果		
総 55 主要な歴史・文化施設への入場者数 ：205,568 人（4 年度）→ 237,000 人（5 年度）			総 55 主要な歴史・文化施設への入場者数 ：214,974 人		
成果・課題	文化施設入場者数は、一乗谷朝倉氏遺跡へのダイレクトバスや朝倉義景没後 450 周年のイベント開催等により令和 4 年度を上回りましたが、夏季に猛暑日が続いたことや、能登半島地震の影響で 1 月、2 月の入場者数が前年度に比べ大幅に減少したことから、目標数値には届きませんでした。 来年度は、第 30 回の節目となる「令和独楽吟」を記念するイベントを開催するとともに、養浩館庭園の錦鯉を増やすクラウドファンディングを行うなど、各施設の更なる魅力向上を図ります。				

16	魅力ある文化資源等を活用した観光誘客の促進	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	4 質の高い教育を みんなに	達成度	
実行内容					
行動目標	ふくい嶺北連携中枢都市圏の各市町と連携し、地域の特色ある歴史や文化資源について、合同出張ミュージアムを開催する他、日本遺産「石がたり」について広く魅力を発信し、観光誘客や交流人口の増加につなげます。 また、東日本連携・創生フォーラムを活用し、令和6年春の北陸新幹線福井開業に向けた、観光周遊を促進する仕掛けづくりとして、「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマとした連携事業を実施します。				
取組内容	○ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業 ・合同出張ミュージアムの開催（「自然と人が織りなす風景」をテーマとするパネル展示を各市町で実施）期間：7/11～R6.3/20、会場：郷土歴史博物館外10施設 11回開催 ・文化芸術イベントチラシの発行（R5.8月～R6.3月開催分：R5.8月発行）、（R6.4月～9月開催分：R6.3月発行） ・文化資源パンフレットの発行（テーマ「街道と流通」、R6.3月発行） ○日本遺産の活用推進 ・認定ガイドの養成講座（基礎編：12/2、12/9、応用編：2/6、2/8、スキルアップセミナー（2/17） ・未来の語り部育成（一乗谷こども大使ガイド 一乗小学校：11/8） ・日本遺産フェスティバルの開催（モニターツアー、ガイドツアー、体験プログラム、パネル展）開催日：11/6～30、会場：一乗谷朝倉氏遺跡、大安禅寺、平泉寺他（福井市、勝山市） ガイドツアー：大安寺和尚のガイドで千畳敷と亀墓を巡る、福井城址散策と石垣レリーフ体験、愛宕坂ツアーとお茶席体験を含む9回開催 ○東日本連携・創生フォーラムの連携事業 ・「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマとした観光地カードの配布（10/13から配布開始） 福井市（4か所）「一乗谷城」、「一乗谷朝倉氏庭園」、「養浩館庭園」、「越前海岸の水仙畑」、みなかみ町（1か所）「谷川岳ノ倉」、さいたま市（1か所）「さいたま市大宮盆栽博物館」、金沢市（2か所）「武家屋敷寺島蔵人邸」、「長町武家屋敷界限」				
指標					
計画			結果・成果		
日本遺産ガイドツアー開催数：5回（4年度）→7回（5年度） 市内観光地カードの収集者数：7,500人（5か月：11月～3月）			日本遺産ガイドツアー開催数：9回 市内観光地カードの収集者数：12,117人		
成果・課題	ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業について、昨年度発行した文化資源パンフレット「自然と人が織りなす風景」の巡回パネル展を参加11市町の文化施設で開催しました。来年度も、今年度発行した文化的景観を紹介するパンフレットを基に、巡回パネル展を開催するなど、引き続き連携市町の交流人口と文化施設入館者の拡大に取り組みます。 日本遺産フェスティバルについては、福井城址や愛宕坂、一乗谷朝倉氏遺跡などで、石垣レリーフづくり等の体験ができるガイドツアー等をメニューを増やして実施しました。これらのうち、大安禅寺や丹巖洞等を巡るモニターツアーが、旅行業者に旅行商品の素材として取り上げられました。今後は、日本遺産「石がたり」ガイドツアーの旅行商品化を目指すとともに、引き続き、その魅力を情報発信します。 東日本連携・創生フォーラムにおいては、構成市町のうち4都市が連携して、10月から「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマにした観光地カードの配布を開始しました。来年度は、カード取得を目的とした入館者数等の実績を上げるとともに、連携都市間の交流人口の拡大と参加都市の増加を図ります。				

17	自然史博物館企画展等の開催と セーレンプラネットの運営	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	自然史博物館では市民や観光客に足羽山周遊を楽しんでもらえるよう、足羽山ビジターセンターを起点に、自然やグルメ、レジャーなどの情報を発信していくとともに、県内唯一の自然科学の総合博物館として企画展等（※1）のより一層の充実を図ります。さらには、地域や学校等からオンラインで博物館学習ができる環境を整備するなど、博物館におけるDX化を推進します。 セーレンプラネットでは、魅力ある番組の投影や企画展等をはじめ、周辺施設等との連携イベントを開催し、テレビ、新聞、SNS等、多様なメディアを効果的に活用して集客を図ります。 また北陸新幹線福井開業時には、恐竜や自然など福井の魅力をアピールし、更なる誘客に努めます。				
取組内容	○本館での主な取組 ・第88回特別展「あつまれ！福井の動物たち」（3/19～5/29）（R5）入館者数 4,245 人 ・第89回特別展「世界の大むしむし展Ⅲ」（7/15～10/22）入館者数 13,705 人 ・秋季企画展「星空風景写真教室 2023 作品展」（11/10～26）入館者数 984 人 ・年末年始企画展 千支展「辰」（12/16～2/4）入館者数 762 人 ・第90回特別展「いっぺん来てみねの！ふくいの自然史博物館」（3/2～5/19）（R5）入館者数 2,730 人 ・足羽山むしむしスクール（7回）・星空風景写真教室（7回）・自然史講座等 44 回開催 ○セーレンプラネットでの主な取組 ・特別展「宇宙を電波で見る」（6/3～7/9）入館者数 2,193 人 ・特別展「宇宙でだららん～リラックマと星空でごろん～」（7/22～8/20）入館者数 5,053 人 ・特別展「プラネタリウム 100 周年」（11/18～1/8）入館者数 2,896 人 ・講演会「宇宙を電波で見る」（6/4）、「福井から宇宙へ」（12/3） ・ドームイベント「e スポーツを楽しもう（7/9）、「ハープ&マリンバコンサート」（9/9）、 「月僧先生のサイエンスショー」（10/1）、「熟睡プラ寝たりウム 2023」（3 回）、 「声優朗読会 ほし×こえ」（1/13、14）、NHK「福井の自然美」（2/3、4）、 「ベビープラネタリウム」（6 回） ・婚活イベント「恋するオトナ婚 in セーレンプラネット」（1/21）				
指 標					
計画			結果・成果		
総56 自然史博物館及びセーレンプラネット 施設利用者数：100,000 人			総56 自然史博物館及びセーレンプラネット 施設利用者数：102,773 人		
成果・課題	本館では、特別展において、県内で確認された全ての哺乳類 60 種余りを標本や骨格標本等で紹介したほか、3 回目となる「大むしむし展」では、世界のカブトムシをはじめ、珍しい昆虫等を展示し、多くの方に来場いただいた結果、入館者数は前年度を上回りました。 分館（セーレンプラネット）では、西武福井店とコラボしたリラックマの展示や、プラネタリウム 100 年目記念の特別展のほか、コンサートやサイエンスショー、朗読会といったドームイベント等を開催し、多くの方に来場いただいた結果、前年度の施設利用者数を上回りました。その結果、本館分館合わせた施設利用者数が目標に達しました。 また、新幹線開業を迎えるにあたり、本館では、福井の豊かな自然を紹介する特別展を開催し、分館ではドームシアターにおいて恐竜を題材とした番組の放映のほか、ハピリンとのコラボで恐竜と宇宙のトリックアート展を開催し、まちなかの賑わい創出に努めました。 今後もまちなかの賑わい創出に努めるほか、本館では地域や学校などとオンラインでつながり、どこからでも博物館学習ができるよう博物館のDX化を推進していきます。				

18	美術館企画展等の開催	4 読の喜び読書を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	美術に親しみ心豊かになるよう、若者の興味を惹く現代美術や、美術ファン向けの近代絵画、世代を超えて楽しめるミニチュア写真など、いろいろなジャンルの作品を紹介する企画展を開催します。講演会や解説会、制作体験も実施して作品をより身近に感じてもらうとともに、他の文化施設等とも連携を取りながらSNS等でも情報発信を図り、県内外からの観光誘客に努めます。 また、創造性を養い刺激するようなプログラムにより、子どもから高齢者までが楽しめる創作の機会を提供します。				
取組内容	○「大村雪乃展 BEAUTIFUL LIGHTS」(6月～7月：32日間) 〈関連イベント〉・大村雪乃さんのシルアート・ワークショップ ・みどころ解説会 ・アトリエチャレンジ「丸シールでえがこう」				9,029人
	○「ひろしま美術館コレクション 日本近代洋画の名作展」(7月～9月：45日間) 〈関連イベント〉・講演会：古谷可由氏(ひろしま美術館学芸部長) ・作品解説会 ・アトリエチャレンジ「貼絵に挑戦」、「しおりをつくろう」				7,028人
	○「一瞬間の“煌めき” 中島潔 令和の心を女性に描く」(9月～11月：44日間) 〈関連イベント〉・中島潔サイン会 ・作品解説会 ・アトリエチャレンジ「ぬり絵」、「おりがみで野菜や果物をつくろう」				7,828人
	○「MINIATURE LIFE 展2」(2月～3月：46日間) 〈関連イベント〉・田中達也サイン会 ・田中達也アーティストトーク ・アトリエチャレンジ「ぬり絵」				40,654人
指 標					
計画			結果・成果		
総54 企画展入場者数 ：68,411人(4年度)→83,000人(5年度)			総54 企画展入場者数：64,539人		
成果・課題	今年度の企画展は、個々の満足度も高く、特に洋画名作展や日本画の展覧会では美術ファンから一定の評価を得られたものの、「MINIATURE LIFE 展2」を除くと、市民の展覧会内容に対する興味や関心が当館の想定より低かったものと考えられ、目標を達成することはできませんでした。 しかし、目新しい表現の現代的作品や教科書に出てくるような名画、日本人の心に訴えかけるような作品と、多彩なジャンルの作品を紹介したことで、鑑賞された方の年代層は10代から70代以上までと例年になく広がりを見せました。 また、関連イベントについては、内容を深掘りする講演会、作家自身によるワークショップやサイン会、そして担当学芸員による作品解説会を開催して多くの方に喜んでいただけました。 企画展の入場者数は、その内容に大きく左右されますが、今後もより多くの方にご来場いただけるよう内容を吟味しつつ、県内外の皆様にも安らぎや刺激を与えられるような作品を鑑賞できる機会を設けていきます。				

19	郷土歴史博物館企画展等の開催	4 質の高い教育を みんなに	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	北陸新幹線福井開業に向け、福井と鉄道との関わりを、明治初期の福井のまぼろしとなった鉄道計画や福井駅前の発展の歴史を通して紹介します。 また、新幹線でつながる関東に関わりの深い人物として、徳川家康の次男である、初代福井藩主 結城秀康を取り上げます。 さらに、クラウドファンディングを活用し、福井の偉人、橋本左内に関連する重要史料を修復することで、広く全国で幕末福井藩の活躍への関心を高めるとともに、来館者満足度の高い展示を目指します。				
取組内容	○春季特別展「いまに残る一乗谷の記憶」(3/21～5/7) 2,922 人 (R5 年度 2,127 人) 〈関連イベントの実施〉・ギャラリートーク：2 回 (R5 年度 1 回) 開催 ・まち歩き「東郷榎山城と朝倉街道」：1 回開催 ・みどころ講座：1 回開催 ○夏季特別陳列①「ふくいの里山・文殊山ゆかりの神仏」(7/27～9/3) ②「まぼろしの鉄道～東北鉄道と明治の福井」(7/27～9/3) 3,850 人 〈関連イベントの実施〉・ギャラリートーク：9 回開催 ・みどころ講座：1 回開催 ・記念講演会：1 回実施 ○秋季特別展「THE 福井駅前 ～駅前 120 年の軌跡～」(10/19～12/3) 10,222 人 〈関連イベントの実施〉・ギャラリートーク：7 回開催 ・まち歩きイベント：1 回開催 ・みどころ講座：1 回開催 ○北陸新幹線福井駅開業記念・結城秀康生誕 450 周年記念 春季特別展「越前百万石ものがたり～福井藩祖・結城秀康～」(R6/3/20～5/6) R5 年度観覧者 4,344 人 〈関連イベントの実施〉(R5 年度)・ギャラリートーク：1 回開催				
指 標					
計画			結果・成果		
企画展の入場者数 ：14,282 人 (4 年度) →26,200 人 (5 年度)			企画展の入場者数：20,543 人		
成果・課題	展示関連企画ではギャラリートーク、講座、市内各所でのまち歩きイベントなど、コロナ禍前と同様の企画に人気に戻り、多くの参加者を集めました。 夏の 2 つの特別陳列企画は、それぞれ仏像ファン・鉄道ファンの話題を集め、また福井市街に遺る一乗谷の痕跡を探究した春季特別展、福井駅前の変遷を扱った秋季特別展では、駅前や福井市街になじみの深い市民の来場が多く、いずれも高い評価を得ました。 本年 3 月から開催の「越前百万石ものがたり」展は人気ゲーム「刀剣乱舞」やポプラ社刊コミック「結城秀康」とのコラボ企画も盛り込み、コロナ禍前並みの盛況となりました。 本年度は目標入場者数を達成できませんでしたが、令和 6 年度は、クラウドファンディングにより修理がかなった橋本左内関連史料の御披露目となる特別展（熊本市姉妹都市提携 30 周年記念）、また江戸時代の福井で活躍した金工の匠「越前明珍」を紹介する特別展など、新発見史料や他にない名品を目玉として幅広い層の興味をひきつける展示とし、全国への福井の歴史・文化の発信に一層注力していきます。				